

| | |
|------------------|---|
| Title | 『慶應義塾大学文学部創設百周年記念論文集』の発刊に際して |
| Sub Title | For faculty of letters centennial issue |
| Author | 小泉, 仰(Koizumi, Takashi) |
| Publisher | 三田哲學會 |
| Publication year | 1990 |
| Jtitle | 哲學 No.91 (1990. 12) ,p.1- 2 |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | |
| Genre | Journal Article |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00150430-00000091-0001 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

『慶應義塾大学文学部創設百周年記念論文集』 の発刊に際して

三田哲学会会長 小 泉 仰

本年は文学部創設百周年記念の年に当たります。文学部において様々な記念行事が行われていますが、三田哲学会におきましても、『哲学』第91集をもって『慶應義塾大学文学部創設百周年記念論文集』とすることを企画致しました。この論文集には、三田哲学会会員で文学部専任教員の研究論文を掲載するとともに、三田哲学会所属の名誉教授の先生方に文学部における研究教育の思い出などを語って頂きました。また三田哲学会所属の哲学、倫理学、美学美術史学、社会学、心理学、教育学、人間科学などの各専攻の教員または名誉教授の先生方にそれぞれ座談会を開いて頂き、思い出、将来の抱負などを語って頂きました。尚本論文集は執筆者の都合や、座談会の開催予定などの都合もあり、且つ大部の書となることもあって、第91集と第92集とに分けて編集することになりました。

さて1967年に刊行された『哲学第50集』を見ますと、故橋本孝先生が三田哲学会発足の頃を顧み、大正14年三田出身の哲学、倫理学、社会学、心理学、教育学などの広い意味の哲学思想に関心を持つ百数十名の教員、研究者が集まって、相互の学問の交流を通して三田における広義の哲学を一層発展させようと意図して三田哲学会を結成したと書かれています。

20世紀後半に生きる我々も、上記の三田における広義の哲学をさらに発展させていきたいと念願しています。現在の三田哲学会は、若い優秀な研究者がそれぞれ独自の研究を進め、新しい段階に突き進む兆しを示し始めており、21世紀に向かって一層発展していく希望を抱かせていることは、誠に心強い次第です。

ただ現在の学問の状況を反映して、三田哲学会内の各研究者間でも専門分化が非常に激しくなり、たとえば同じ専攻の中でも互いに了解し得ない点があることもしばしばであります。こうした過度の専門化が一面でやむを得ない点がある一方で、専門分野を越えた地平での相互の専門分野の学問の協力を必要としている現代世界の諸問題に対して、過度の専門化は有効な回答を用意し難いという難点を持っております。従って私は文学部創設百周年を期として、三田哲学会発足時の目的を再び想起し、各会員がそれぞれの専門領域において優れた研究を行うとともに、三田哲学会を通して相互の有機的な交流を計ることを配慮の中に入れて頂き、現代の種々のグローバルな問題に対して広い視野に立った哲学的思想をも育まれるように希望します。また20世紀後半においては、広義の哲学分野でも国際的な交流が極めて盛んになりつつあります。こうした点でも三田哲学会が国際学会として発展することを念願する次第であります。